

コードチェンジ

結城洋志

株式会社クリアコード

実践リーダブルコード

2019-09-24

目的

リーダブルな
コードを探す

おさらい：今日の体験内容

- ✓ 「まず自分が読み始める」
- ✓ 「リーダブルコードを探す」
(読みにくいコードは今は置いておく)
- ✓ 「リーダブルの基準を共有」
(チームでのリーダブルコードができる)

ポイント

リーダブルじゃないコードより
リーダブルなコード

リーダーブルじゃないコード

- ✓ 見つけやすい
 - ✓ 異質
 - ✓ 読んでいると詰まる
- ✓ 今日のチャレンジ
 - ✓ 気をとられない

リーダブルなコード

- ✓ 見つけにくい
 - ✓ まわりのコードになじんでいるから
 - ✓ すーっと理解できてひっかからない
- ✓ 今日のチャレンジ
 - ✓ 意識して見つけよう！

やること

- ✓ 他の人のリポジトリをfork
- ✓ どこまで進んでいるかを把握
 - ✓ リーダブルコードを探す
- ✓ 開発を継続（改良）
 - ✓ リーダブルコードを探す

リーダブルコードを発見！

- ✓ メモに残す
 - ✓ forkしたリポジトリのissueに書く
- ✓ メモの内容
 - ✓ 実際のコードのURL
 - ✓ リーダブルな理由
 - ✓ 見つけたきっかけ

メモ例

タイトル：統一されたスタイル ← リーダブルな書き方の名前

↓本文↓

URL: <https://github.com/kou/.../commit/eb02be>

コード:

```
@@ -64,7 +64,7 @@ void add_term_to_TermList(...) {
    void open_TermList(TermList *list, char *path) {
        FILE *fp;
        /* ファイルを開く */
-   if ((fp = fopen(path, "r")) == NULL){
+   if ((fp = fopen(path, "r")) == NULL) {
        fprintf(stderr, "ファイルが開けません\n");
        fclose(fp);
        exit(EXIT_FAILURE);
```

理由:

ファイル内でスタイルを統一しているので読みやすくなっている。

✓ 読む人基準リーダブルコードとは

- ✓ 「読む人」が 読みやすいならリーダブル
- ✓ 読む人（=自分）基準でよい
 - ✓ 自分はどんなコードがリーダブルだと思うのか言語化してみよう
 - ✓ 凝った書き方を見つけるのは目的ではない！